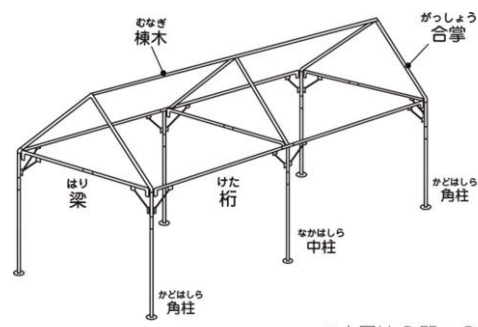


大テントの張り方

2025/1/6

部材	本数	
		
棟（むね）	2	テントの屋根の高い場所のことです。そのためテントを設置する際には、“屋根”と呼ばれています。
梁（はり）長い	3	テントの脚と脚を繋ぎ、棟と垂直方向になっている横のパイプです。梁は、テントのサイズによって数が変わりますが、パイプテントであれば基本的に2本又は3本程度となっています。
桁（けた）	4	棟と平行になっている部分です。基本的に脚が6本あるテントでは、桁は4本あり、テントの柱と柱を繋ぐ大切な部分となっています。
合掌（がっしょう）	3	三角屋根のテントの斜めの部分の骨組みのことです。合掌は柱と棟のを役目をもっています。
柱（はしら）	6	テントの脚の部分の子です。パイプテントの場合には、支柱が角の4本、中柱が中間部の2本で設置をします。
天幕（てんまく）	1	テントの屋根部分です。



<<<無理な力かけると合掌の接続部が壊れるので要注意>>>

- ① まず、柱6本を並べる。足は中央に向けて配置
- ② 桁を並べる
- ③ 梁を並べる
- ④ 桁を柱につなげる
- ⑤ 梁を柱につなげる



- ④ 合掌を柱につなげる
- ⑤ 棟木を合掌につなげる
※持ち上げるときに外れやすいのでしっかり差し込む
- ⑥ テントをかける



- ⑦ 6人（最低）で6本の柱をもちあげる
※柱の中央をもって持ち上げること。
桁、梁をもつと柱から外れるので要注意
- ⑧ テントとフレームを縛る